

2024年6月12日

各 位

住 所 東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号
会 社 名 G M O リ サ ー チ & A I 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 細 川 慎 一
(コード番号：3695 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 グ ロ ー バ ル 経 営 管 理 本 部 長 森 勇 憲
(TEL：03-5962-0037)

AIによるアンケートで手軽に海外調査が可能に！
訪日外国人向けのサービス展開支援に特化した
「GMO Ask for らくらくインバウンド調査」を提供開始

当社は、報道機関向けに下記プレスリリースを行いましたので、お知らせいたします。

記

AIによるアンケートで手軽に海外調査が可能に！
訪日外国人向けのサービス展開支援に特化した
「GMO Ask for らくらくインバウンド調査」を提供開始
～消費者ニーズ把握、消費動向実態把握でインバウンド調査をサポート～

詳細につきましては、次ページ以降のプレスリリースをご参照ください。

なお、本件は当社の 2024 年 12 月期連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。

以 上

2024年6月12日

報道関係各位

GMO リサーチ&AI 株式会社

**AIによるアンケートで手軽に海外調査が可能に！
訪日外国人向けのサービス展開支援に特化した
「GMO Ask for らくらくインバウンド調査」を提供開始
～消費者ニーズ把握、消費動向実態把握でインバウンド調査をサポート～**

GMO インターネットグループで、インターネットリサーチ事業を展開する GMO リサーチ&AI 株式会社（代表取締役社長：細川 慎一 以下、GMO リサーチ&AI 略称：GMO-R&AI）は、2024年6月12日（水）に、「GMO Ask」のパッケージ型調査サービスとして、インバウンド支援サービス「GMO Ask for らくらくインバウンド調査」の提供を開始しました。

「GMO Ask for らくらくインバウンド調査」では、ご希望される国と地域^(※1) 最大 90 か国以上の消費者調査を行い、訪日外国人向けの自社製品やサービス展開を検討している企業が必要とする基礎データを調査・分析いたします。海外調査年間対応件数 400 件以上（インバウンド調査含む）の GMO リサーチ&AI の調査知見を生かして作成した調査テンプレートと、データ集計・グラフ作成・示唆コメント入力などの AI 化により、調査設計から分析までをワンストップで提供いたします。



For らくらくインバウンド調査

(※1) 対象国・地域例：中国、台湾、香港、韓国、ベトナム、マレーシア、インド、タイ、インドネシア、フィリピン、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール、アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、ブラジル、チリ、コロンビア、メキシコ、ペルー、アルゼンチン、ロシア、ノルウェー、スウェーデン、フィンランド、オーストリア、トルコ、ポーランド、ポルトガル、オランダ、アイルランド、ギリシャ、デンマーク、スイス、ベルギー、南アフリカ、UAE、サウジアラビア、エジプト、モロッコ、ナイジェリア etc...

【「GMO Ask for らくらくインバウンド調査」について】

世界各国からみても日本は「行ってみたい国」の常連国です。ここ数年の円安も後押ししてインバウンドでの経済効果は大きく、訪日外国人の潜在ニーズを把握することは訪日外国人向けの製品やサービスを検討するときの必要な要素となります。

本サービスでは、訪日されるそれぞれの国の方がどのような日本の製品を求めているのか、外国人向けに予定しているサービスに対する現時点での評価、何を求めて訪日しどのようなものを消費したのか、などの分析データを効率的に提供いたします。また、どのセグメントにどのような設問を設計すればよいかなどの悩みに応じたサポートをすることで、製品・サービスの販促活動を支援します。

■ サービス概要

「GMO Ask for らくらくインバウンド調査」は、訪日外国人向けの自社製品やサービスを展開する企業向けのパッケージ型調査サービスです。消費者ニーズ把握モジュール、消費動向実態把握モジュールの2つの調査テンプレートがあり、企業ごとのブランド・商材・サービス名を当てはめる形で効率的な調査を実施します。

1. 消費者ニーズ把握モジュール

各国の消費者ニーズを把握し、訪日時の購買につながるターゲット層を調査分析します。

「現在のお困りごと」「これから求められるものの方向性」を探索し、消費者が対価を払う条件を理解することが可能です。

2. 消費動向実態把握モジュール

訪日外国人の客層や旅行内容、消費実態を明らかにし、どの国のどの層の方が訪日時に何を求めているのかを把握できます。訪日外国人の消費に対する意識や物価の見通しから自社製品・サービスの改修、価格設定など、消費者マインドを示す指標として迅速にデータを集め、意思決定のサポートが可能です。

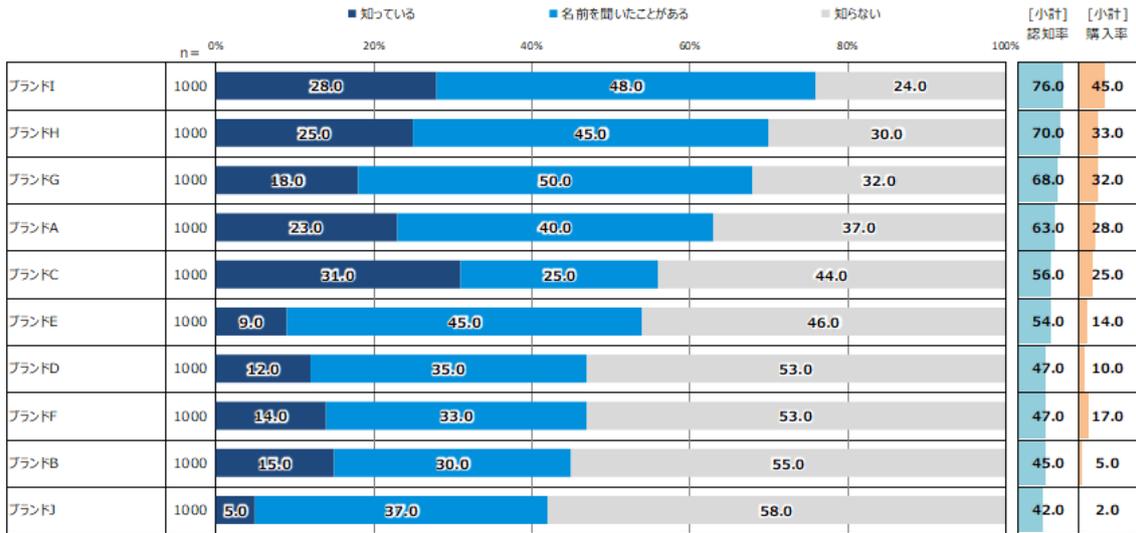
■ サービス詳細

| | |
|--------------|---|
| 名称 | GMO Ask for らくらくインバウンド調査 |
| 利用料金 | 50万円（税抜）～ ※アジア1か国の場合 |
| 対応調査 | 消費者ニーズ把握調査・消費動向実態把握調査 |
| サービス内容 | <ul style="list-style-type: none">・ヒアリング～適した調査・設問の提案・調査設計、調査票作成・多言語翻訳・アンケート画面作成・アンケート配信、回収・集計・グラフ作成、レポートニング |
| 基本調査仕様 | <ul style="list-style-type: none">・回答数：1か国 150～300 サンプル / 設問数：15 問程度・各国 1,000 種類以上のセグメントに属性ターゲティング配信（ターゲットを絞り込む設定）が利用可能 |
| お問い合わせ・お申し込み | 下記 URL よりお問い合わせ・お申し込みを受け付けています https://gmo-research.ai/contact/inquiry |

主要ブランドの認知・購入率

■中国からの訪日観光客における主要ブランドの認知・購入率

認知率が70%を超えているのが2銘柄（ブランドI、ブランドH）、60%を超えているのが2銘柄（ブランドG、ブランドA）あり、これらが主要銘柄である。購入率を見るとブランドIが45.0%であるのに対してブランドHは33.0%で、認知→購入のコンバージョンに大きな差が見られる。

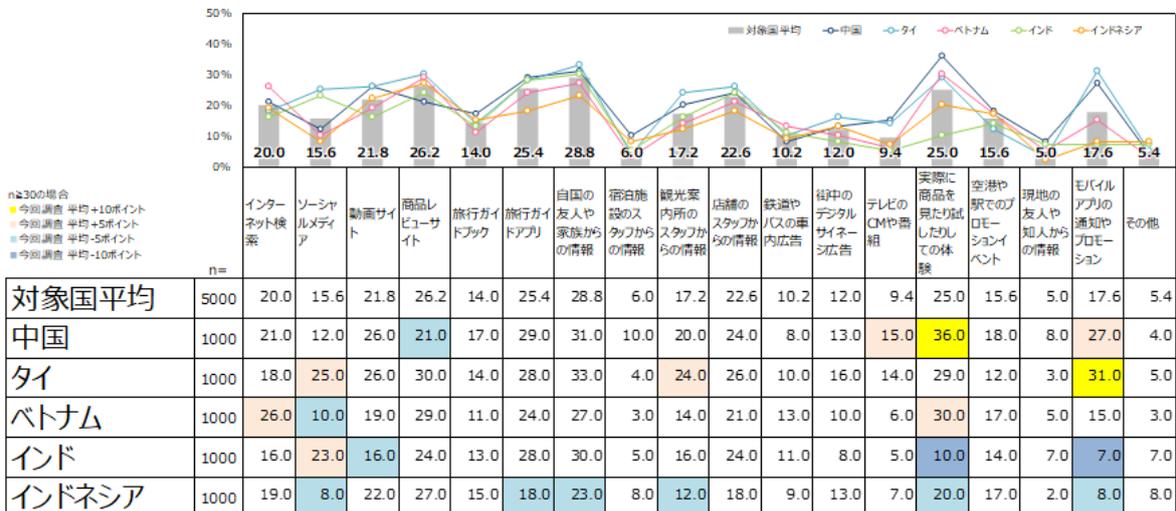


Copyright © GMO Research & AI, Inc. All Rights Reserved.

情報収集行動

■対象国間の情報収集行動の違い

対象5か国平均では「自国の友人や家族からの情報」が最も高く、「商品レビューサイト」「実際に商品を見たり試したりしての体験」が続く。国別での傾向の違いに着目すると、中国は「実際に商品を見たり試したりしての体験」が平均より10pt以上高く、同様にタイは「モバイルアプリの通知やプロモーション」が高い。インドとインドネシアは全体平均よりも低い項目が多く、国ごとに傾向の違いが見られる。



Copyright © GMO Research & AI, Inc. All Rights Reserved.

【「GMO Ask」のパッケージ型調査サービスについて】

■特徴①低価格で調査設計～レポートまでワンストップ対応

GMO リサーチ&AI のパッケージ型調査サービスは、調査の要である調査設計から、オプション扱いとなることが多いレポートまで、調査プロセスのほぼすべてをカバーしています。また、調査テンプレートの作成や結果の分析などさまざまな部分で AI を活用しているため、低価格での提供を実現しました。

■特徴②調査テンプレートの利用で簡単に高品質な調査を実施できる

調査テンプレートは、プロが監修しており、商材・サービスをテンプレートに当てはめるだけで調査票を作成できます。初回に実施する打ち合わせの際にプロのリサーチャーから適した調査・設問を提案しますので、調査が初めての方やプロが監修した高品質な調査を希望する方など、ニーズにあわせ簡単に本格的な調査をすることが可能です。

■特徴③AI×調査テンプレートによる人的工数削減でスピード納品

依頼からレポート納品まで最短 2 週間で完了します。調査票をテンプレート化し、調査設計、データ集計、グラフ作成や示唆コメントまでさまざまな調査プロセスに AI 技術を取り入れることで、人が考える時間、手を動かす時間が削減でき、スピーディーな納品を可能にしています。

【GMO リサーチ&AI について】

GMO リサーチ&AI は「想いを、世界に」をフィロソフィーに掲げ、企業と生活者の関係の再構築を実現する、新しいマーケティング・ソリューション・プラットフォームを普及させる事業を展開しています。

アジア 16 の国と地域で、約 6,119 万人^(※2)の消費者にインターネットリサーチが可能なパネルネットワークと AI 技術を活用して、日本のみならず世界各国の企業から調査依頼を受けています。

2024 年 5 月 1 日より GMO リサーチ株式会社から「GMO リサーチ&AI 株式会社」に社名変更いたしました。

(※2) 2024 年 4 月時点

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO リサーチ&AI 株式会社
グローバル経営管理本部 森 まゆあ
TEL : 03-5962-0037 (代表)
E-mail : ir@gmo-research.ai

- GMO インターネットグループ株式会社
グループ広報部 PR チーム 山崎
TEL : 03-5456-2695

お問い合わせ : <https://www.gmo.jp/contact/press-inquiries/>

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO リサーチ&AI 株式会社
事業開発本部 須藤
TEL : 03-5459-5565
E-mail : info@gmo-research.ai

【GMO リサーチ&AI 株式会社】 (URL : <https://gmo-research.ai/>)

| | |
|---------|--|
| 会 社 名 | GMO リサーチ&AI 株式会社 (東証グロース市場 証券コード : 3695) |
| 所 在 地 | 東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー |
| 代 表 者 | 代表取締役社長 細川 慎一 |
| 事 業 内 容 | インターネットリサーチ事業 |
| 資 本 金 | 2 億 9,903 万円 |

【GMO インターネットグループ株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

| | |
|---------|--|
| 会 社 名 | GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 9449) |
| 所 在 地 | 東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー |
| 代 表 者 | 代表取締役グループ代表 熊谷 正寿 |
| 事 業 内 容 | ■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業 |
| 資 本 金 | 50 億円 |

Copyright (C) 2024 GMO Research & AI, Inc. All Rights Reserved.